

令和元年東日本台風に係る山地・林道の災害と復旧の状況

佐久地域振興局 林務課

1 概要

令和元年10月11～13日の台風第19号（東日本台風）の豪雨により、管内東部を中心に甚大な被害が発生した。（佐久穂町 上石堂観測所の連続降雨量 578 mm）

被災箇所を優先順位を勘案しつつ順次復旧を進めている。

2 被害状況（県下の5割程度が佐久地域に集中）

山地			林道			
箇所数	面積	被害額	路線数	箇所数	延長	被害額
68	7.51 ^{ha}	1,477,400 ^{千円}	121	749	12,922 ^m	1,210,466 ^{千円}

注）・山地被害の箇所は、他所管分を含む

3 山地災害の復旧（治山事業）実施状況 【事業主体：県】

(1) 令和2年度実績

事業費：千円

事業名	箇所数	事業費	竣工	R4へ 繰越
災害関連緊急治山※1	3	105,809	3	-
復旧治山	2	42,812	2	-
緊急総合治山	2	81,807	-	2
林地荒廃防止	4	173,085	1	3
県単治山	5	38,343	4	1
計	16	441,856	10	6

※1 令和元年度事故繰越事業

事業費:千円

事業名	箇所数	事業費	竣工	R3へ 繰越
災害関連緊急治山※1	7	443,115	4	3
復旧治山	1	47,003		1
林地荒廃防止	1	57,937		1
県単治山	5	26,367	3	2
計	14	574,422	7 (50.0%)	7

石橋
浜場
湯原・栃女郎・山入
金井・茂沢

※1 令和元年度繰越事業

(2) 令和3年度計画(公共)

事業費:千円

事業名	箇所数	事業費
復旧治山	1	8,200
緊急総合治山	2	81,800
林地荒廃防止	3	114,800
計	6	204,800

石橋
白床・下方
さす沢・浜場・境内続

R3当初+R2補正全体 : 8箇所 306,000千円

3 林道施設災害復旧の実施状況 【事業主体:市町村】

事業費:千円

市町村	箇所数	査定決定事業費	契約	竣工	R3へ 繰越	R3以降 発注
小諸市	-	-	-	-	-	-
佐久市	30	215,653	25	12 (40.0%)	13	5
小海町	2	24,363	2	1 (50.0%)	1	-
佐久穂町	42	407,177	19	10 (23.8%)	9	23
川上村	10	62,046	6	5 (50.0%)	1	4
南牧村	1	5,665	1	1 (100.0%)	-	-
南相木村	1	6,866	1	1 (100.0%)	-	-
北相木村	23	220,973	12	3 (13.0%)	9	11
軽井沢町	2	19,025	2	2 (100.0%)	-	-
御代田町	5	34,048	5	5 (100.0%)	-	-
立科町	1	6,232	1	1 (100.0%)	-	-
計	117	1,002,048	74	41 (35.0%)	33	43

4 課題と対応

- ・ 佐久管内においては河川・道路・農地等も甚大な被害を受けており、その復旧に向けた工事が同時期に多数発注されているが、技術者や現場従事者の不足により入札不調が頻発しており、発注時期、規模など、受注しやすい条件整備が必要。
- ・ 建設事務所を事務局とし、関係する県・市町村の事業実施部署による発注者調整会議が組織され、各所管の発注予定、事業進捗状況、資機材の需給状況など、円滑な事業実施に向け情報共有や調整を行っている。
- ・ 林道施設災害復旧について、事業主体の市町村は、生活に密着した他の所管の災害復旧を優先させ、また被災箇所への資材搬入路となる下方道路の復旧状況等を見つつ、早期の復旧が必要な箇所から順次国庫補助金の交付を受け、復旧事業を実施しているが、通常の国庫割当が行われる期間（発生年度を含め3年）での事業実施は難しい状況。
- ・ 今後、令和4年度での予算配当を国に求めていくとともに、県は円滑かつ適切な復旧が行われるよう、市町村に対して事務・技術両面の支援を引き続き行っていく。

災害復旧工事 実施状況

【災害関連緊急治山事業】 川上村 ^{しらとこ} 白床地区



複数の渓流で発生した土石流が
体育館内部まで流入。

谷止工4基、流路工、山腹工を実施



NO3 谷止工及び流路工 施工状況

【林道施設災害復旧事業】 佐久市 ^{きよかわ} 清川線



林道沿いを流れる河川の増水により流失した路体を復旧